

ケアマネ SAPPORO

2021.4.1 発行 第129号

社団法人 札幌市介護支援専門員連絡協議会

発行

〒001-0010
札幌市北区北10条西4丁目1 SCビル2F
TEL 011-792-1811 / FAX 011-792-5140

ケアマネジャーと	生活を豊かにする福祉用具	IV
医療ソーシャルワーカーの連携	I 地域包括支援センター探訪	V
札幌市からのお知らせ	コロナ禍でのケアマネジメントから学んだこと	VI
高齢者支援計画2021について	III コロナと家族と利用者	VI

「ケアマネジャーと医療ソーシャルワーカーの連携～いつもの連携の大切さがコロナ禍で実感～」

NTT東日本札幌病院 医療ソーシャルワーカー（認定医療社会福祉士）

清野 圭司

一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 執行理事

公益社団法人 日本医療社会福祉協会 理事



皆さま、いつも大変お世話になっております。

私が原稿作成している時点では、市内の新型コロナウイルス感染症が徐々に落ち着いて来ており、ワクチン接種も現実的になって来ました。当院もワクチン接種の準備を進めておりますが、行政からの連絡を受けていますと国からの指示で大慌てで進めているように思います。

余談になりますが、東洋経済オンラインの記事で新型コロナウイルスの「震源地」を探る研究で中国の武漢で感染がわかる以前に、中国だけでなく、ヨーロッパや南アメリカでも人が感染していた痕跡が見つかったそうです。感染者が多い地域と少ない地域の偏りに、古代のネアンデルタール人の遺伝子が関係しているという研究も発表されたようです。新型コロナウイルスについては、時が経つにつれて実態を少しずつ知り、慣れてきたと思っておりますが、まだまだ知られていない事もあるという事ですね。

札幌でも陽性者が発生してから1年以上が経ちます。市立札幌病院で新型コロナウイルス感染の診療をしている事は皆さんもご存じかと思いますが、市内の基幹病院でも帰国者・接触者外来を開設してPCR検査をしたり、陽性患者さんの治療をしたり、疑似症の救急患者さんの受け入れなどを行ったりとそれぞれの医療機関が役割を分担してやるべき事をした事で、昨年秋からの第3波の感染のピークを乗り越えられたと私は思っています。なお、詳しい医療機関名は非公表となっておりますので割愛します。

当院は協力機関の一つであり、新型コロナウイルス感染症患者さんに関わらせて頂いておりますので、医療ソーシャルワーカーの業務の状況やケアマネジャーの皆さんとの連携等についてお話しさせて頂ければと思います。

医療ソーシャルワーカーの業務は、感染の流行り始めた当初は患者さんご家族との面接が原則禁止、病棟等へ赴く事も原則禁止となりました。医療機関の中には、病棟等で行う他職種とのカンファレンスが中止になったり、面談室に窓がない場合は検温とマスク、フェイスシールド着用のもと時間制限をして実施したり、面談室の利用を禁止していた所もあったと聞いております。ご家族の面会も禁止でしたので、患者さんが十分な理解や意思決定が困難なケースでは、医療ソーシャルワーカーがご家族に適宜連絡を取って状況を説明しながら退院に向けた支援を続けました。ご家族も入院患者さんには会えていない為、状況理解が進まず退院支援にはこれまで以上に気を使います。

自宅退院の場合では、ご家族の認識以上に介護や見守りが必要で負担が増加し、自宅生活を断念して施設入居にシフトする事もあります。

転院の場合では、患者さんの転院がそもそも必要な状態なのかのご家族の理解が深まらず、転院先への事前見